

わたなべニュース

2018.1.1 vol.95

発行元：社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部

TEL：0798(74)2630 FAX：0798(74)7257

ホームページ：<http://www.n-watanabe-hosp.jp/>

あけましておめでとうございます



社会医療法人 渡邊高記念会
理事長 佐々木 恭子

あけましておめでとうございます。
皆様の温かいご支援とご協力、心より御礼申し上げます。

今年もよろしくお願い致します。

ここ最近、毎年同じことを申し上げます。

新年早々ですが・・・

後期高齢者と言われる75歳以上の人口は毎年50万人のペースで増え続けます。もう間もなく65歳以上の単身世帯が全世帯の20%に近づき、若者の人口は減少し続け今後30年間に我が国の人口は1200万人減少し、国民の4割近くが高齢者となることが予測されています。

このような状況の中、私共医療、介護に携わる者には皆様と力を合わせて地域の健康を守る【生活支援型医療】が求められているのです。

私共の病院にも、地域連携の要となる病院作り、皆様の生活に寄り添うことのできる医療と介護が求められています。

昨年の11月からは西宮市の委託事業である「西宮市中央在宅居宅療養相談支援センター」を開設させていただきました。

昨年7月に開設したサービス付き住宅「ひだまり」には『定期巡回随時対応型訪問介護ステーション』を併設しました。上甲子園では心臓リハビリを専門とするリハビリクリニックも開設することができました。

昨年末には福祉の郷に心臓血管センターの分院となる前浜クリニック（循環器内科・糖尿病内科・脳神経外科）も開院、このクリニックは今年六月には『脳卒中・心臓リハビリテーション病院』となる予定です。今年も在宅での寛解維持を目的とした様々な取り組みで皆様の健康維持に貢献させていただく所存です。

救急医療の充実とそれに続く生活支援型医療の充実に全力で取り組ませていただきます。

今年も一年ご支援ご協力頂けますようお願い致します。

皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈りいたします。
よい年であります様に。



社会医療法人 渡邊高記念会 副理事長
西宮渡辺病院 院長 佐々木 健陽

新年あけましておめでとうございます。

昨年、日本老年学会が高齢者を75歳からにすべきとの定義変更を提言しました。

日本の平均寿命が、男性は81歳 女性は87歳というのを考えると、70歳くらいまでは、元気に働いてもらわないといけない時代に突入しているかもしれません。

ただ病気は常に予期せぬ出来事です。高齢者は病気にかかりやすいです。

高齢で入院となると、一挙に肉体的にも精神的のも10歳くらい年を取ったようになります。

私達は地域の皆さんの予期せぬ病気に対して、速やかに安全に安心して対応できるよう、不幸にして入院しても元気に家に帰れるよう日々努力しています。

しかし、病気は患ってからでは、治療が難しくなります。

年を取ったと思ったら、ちょっと体に異常を感じたら、私達のところにはやく受診するようにして下さい。

とはいえ、今年は、皆様においては穏やかな一年でありますように。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



西宮渡辺病院

西宮人工関節センター長

福岡 慎一



あけましておめでとうございます。昨年は西宮人工関節センターにとって節目の年になりました。昨年は6月から開業された政田先生に代わり、福永先生が赴任してくれました。センター発足以後人工関節手術件数が延べ1000例を超え、年間の手術件数も初めて150例を超えました。

昨年は講演活動として、沖縄、仙台、東京で、地元では西宮において医師、患者などを対象に講演を行いました。学会活動としては沖縄、神戸、富山、東京で発表など充実した1年となりました。

また、12月には今年に日本に導入を予定されている新しい人工股関節をドイツの2つの病院へ行き6例の手術見学、そのうち3例の手術には実際に手洗いをして手術に入り、ドイツの先生方とも交流を深めました。臨床では術後10年近くの経過例も出てきており、非常に良好な成績を収めています。今年も国内外で学会発表や英語論文を投稿予定です。

今年は更に発展し、阪神地区の皆様に質の良い医療を提供できるよう精進したいと思いますので、よろしくお願いいたします。



西宮渡辺病院

呼吸器内科部長 松浦 邦臣



あけましておめでとうございます。西宮渡辺病院呼吸器内科に赴任して2度目の新春を迎えることができました。昨年は夏と冬に地域フォーラムで講演をさせていただく機会があり、新たに患者様のご紹介をいただくなど非常に充実した1年でありました。これもひとえに西宮地区の先生方の御支援、病院スタッフの協力の賜物と大変ありがたいと思っております。さて、季節はいよいよインフルエンザの流行期へと移り、感染を契機としたCOPD急性増悪、呼吸不全が激増する呼吸器科医にとって1年で最も忙しい時期を迎えます。一人医局ではありますが今年も全力で頑張りますので、引き続きご指導の程よろしくお願いいたします。

西宮渡辺病院

消化器外科部長 奥田 豊一



健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

消化器外科は2016年4月の新設より、長い間常勤医一人体制で、何とか診療を続けて参りましたが、昨年2017年10月より常勤医が増員され二人体制になりました。

増員に伴ない、これまでは困難であった緊急対応が可能になっただけではなく、より幅広い疾患、より重症の患者様にも対応可能となります。

当科では急性虫垂炎、鼠径ヘルニア（脱腸）、胆石胆嚢炎に対する手術から90歳を超える方の癌の手術まで施行しており、より安全確実な、より負担の少ない手術のため、積極的に腹腔鏡下手術を導入しております。術後も、院内・関連施設などのリハビリテーション・介護施設と連携を取り健康な生活への復帰を目指しております。

本年もよろしくお願い致します。



西宮渡辺病院

内科部長 本郷 俊樹



新年あけましておめでとうございます。

中村草田男の第一句集「長子」に収められている「明治は遠くなりけり」という言葉が、昭和40年代に流行ったことがあります。大正が過ぎ、昭和の時代となり、明治100年にあたるところで使われたようです。本年は、平成が幕を閉じる前年にあたります。元号を続けることに対して、賛否の意見は色々ありますが、時代を区分して、その年代の記憶を蘇らせるには、良い制度かと個人的には思っています。次の元号の頃には、「昭和は遠くなりけり」という言葉も流行るのでしょうか。西宮渡辺病院グループの平成時代は、新病院、関連施設の建設が絶えず続き、飛躍の時代でした。次期元号の時代も、更なる飛躍と充実の時代であることを切に御祈り申し上げます。次第です。

今年もよろしくお願い致します。



あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願い致します。



西宮渡辺病院

消化器内科部長 丁 秀鎮



新年明けましておめでとうございます。

昨年5月に内視鏡室をリニューアルし、患者様により安心して安全、かつ苦痛の少ない検査を motto に内視鏡スタッフ一同頑張っております。

定期的な内視鏡検査に受けることでいわゆる“手遅れの癌”はほぼ100%に近い確率で防げると考えており、検査をお受けになられた方へ再検査通知のお知らせを送らせていただいておりますが、昨年度約6割の方は再検査を受けておられない状況です。

できるだけ患者様のご都合に合わせた日程で検査をさせていただきますので、再検査通知が届いてる方、定期的な内視鏡検査をお受けになられていない方、今年是非消化管ドッグではなくドックの年に！！



西宮渡辺病院

麻酔科部長 竹中 睦子



新年あけましておめでとうございます。

昨年の4月より手術室麻酔科のスタッフが、二人となりました。当院のそれぞれの科の特殊性にそった麻酔業務をおこなえるようになりました。

同じ方が、同じ手術、同じ麻酔を受けられることは少なく、患者様との一期一会の毎日です。

患者様が手術室から退室される際に、『えー、もう終わったのですか』『ああ、よくねました』というお言葉を励みに、オリジナリティある麻酔に精進をかさねていきたいと思います。

ご指導のほどよろしくお願い致します。



西宮渡辺心臓・血管センター

管理者 榎田 昌平



新年あけましておめでとうございます。

昨年のセンターの一年はいろんな出来事があり、慌ただしく過ぎたような気がします。常勤医の数は本院よりも多くなり、全職員数も本院と同じくらいまでになりました。建物構造は全体的に広い造りなのですが、診療やスタッフの利用スペース

西宮渡辺病院

麻酔科部長 垣内 英樹



新年明けましておめでとうございます。当院の麻酔科常勤医として2年が過ぎようとしています。今年度には新しく竹中先生を新しい仲間として迎え、更に新しい体勢として周術期管理を行っております。

従来全身麻酔管理は吸入麻酔薬を主体とした管理が主でしたが新しい静脈麻酔薬の登場により完全静脈麻酔が容易に行えるようになり使用する割合が増えてきています。当院の麻酔管理も完全静脈麻酔法を中心としており新しい鎮静の質を提供しています。

今までは安全に管理が出来る事が第一でしたが、それに加え私たちは少しでも睡眠の質を上げるべく完全静脈麻酔法に様々な区域麻酔を組み合わせながら周術期管理を行い、麻酔の質を向上するように取り組んでいます。



西宮渡辺病院

看護部顧問 南口 恵子



明けましておめでとうございます。

今年度は、社会医療法人で新たに回復リハビリ病院の開院が予定されています。

本院看護部としましては、看護部体制の整備に協力し、滞りなく運営できるよう貢献できればと考えています。

また、今年度も地域の皆様に安心して生活していただけるよう、訪問看護・介護部門・リハビリ等と密な連携を図り、在宅支援の充実を目指していきたいと考えています。

が手狭になってきたのが当面の課題です。また、人数が増えるとコミュニケーションが取りにくくなるものです。各部署間の垣根を低くしてお互いにスムーズな連携が図れるように、日頃から顔の見える関係を築くことが大切だと思います。

当センターは、循環器疾患に特化した救急病院としての使命があります。この一年も皆様とともに目標に向かって邁進していきましょう。今年もどうぞよろしくお願い致します。



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



西宮渡辺心臓・血管センター
院長 山室 淳



新年あけましておめでとうございます。

正月は家族で過ごされた方、実家へ帰郷した人や楽しい旅行に行った人もいたでしょう。病院で過ごされた方は本当にお疲れ様です。それぞれが良いお正月を迎えられた事と思います。

今年も初心に戻りセンターが患者中心の良い医療施設と言われるように努めさせて頂く決意です。

患者さんの期待にこたえるように、これからも努力を続けてゆきたいと思ひます。スタッフ一同が患者様と笑顔で接し、挨拶を忘れず、多くの方に愛される名門施設になれるように私も日々努力をしたいと考えています。

今年も一年よろしくお願い致します。

西宮渡辺心臓・血管センター
センター長 民田 浩一



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、最新型3Tおよび1.5T MRIを2台導入し、精密でかつ迅速にMRI検査に対応することが可能となりました。また、地域における心臓リハビリテーションの拠点となることを目標に7月に上甲子園に心臓リハビリクリニックを開設しました。加えて前浜クリニックにも当院と連携したクリニックとして、循環器診療を開始しました。

本年は、より一層地域医療施設、介護施設との連携をはかり、超急性期から慢性維持期までの一連の流れの中で地域で最も信頼される心臓・脳血管専門病院であり続けるようにセンター一同努力する所存です。

今年も宜しくお願いいたします。



西宮渡辺心臓・血管センター
副院長 吉田 和則



2008年から心臓血管外科部門を開設し、早くも10年目を迎える事となりました。

ここに至る間、病院執行部やスタッフの献身的なサポート、そして、常日頃からご迷惑をお掛けしております近隣病院の先生方に厚く、お礼を申し上げます。

また、昨年からは、我々のチームに小澤先生も加わり、一層密度の高い、充実した診療が行えるよう、熱意だけは負けないように頑張っていきたいと考えております。

まだまだ、若輩者でご迷惑をおかけする事も多々あるかとは存じますが、今後ともご指導の程、何卒よろしくお願い致します。

西宮渡辺心臓・血管センター
看護部長 丹下 知子



新年明けまして おめでとうございます。

昨年は 4月に看護部長に就任し、看護部の教育体制を整備する一年となりました。

各部署に師長・主任と核となる人員を配置し、師長主任を中心にクリニカル・ラダー教育、新人教育を充実させてまいりました。また院外研修・学会発表にも多数参加し、看護の質を向上することができ、看護部の基礎固めの年となりました。

来年度は活気のある職場づくりと看護職員の定着、職員が満足して働けるような組織をめざし、さらにチームワークの充実を図っていききたいと思ひます。そして地域の皆さまに信頼され満足していただけるような看護を提供する所存でございます。

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。

西宮わたなべ前浜クリニック
皮膚科 川崎 加織



明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

西宮わたなべ前浜クリニック皮膚科は水虫や湿疹、ヘルペスから、しみやアザのレーザー治療まで患者様のニーズに応じ幅広く診療を行っております。おかげさまで昨年も沢山の患者様にご来院頂きました。

本年におきましても気軽にご相談頂ける、地域密着型のクリニックを目指し、より良い医療を提供できますようスタッフ一同努めたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



介護老人保健施設
ハートケア西宮わたなべ
施設長 箕倉 清宏



皆さん、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて私事乍、昨年11月より「福祉の郷」の管理者として本院より当施設へ異動しております。

ご承知のように「福祉の郷」は平成18年5月に開設され、介護老人保健施設「ハートケア」、グループホーム「てまりの家」、サービス付き高齢者住宅「はまかぜ」からなる医療福祉施設の集合体です。昨年12月には前浜クリニックにおいて、以前から開設されている皮膚科に加え、循環器科、脳神経外科、内科（糖尿病）が加わり4診療科となりました。また、この後、兵庫県からリハビリ病床26床戴くことが出来、今春過ぎには当施設全体が一つのリハビリ病院として新たな出発をする予定となっております。

当社会医療法人としては3番目の病院開設となり、法人の沿革に新たな歴史の1ページを書き加える素晴らしい年になりそうです。

そのために諸氏のご協力も得て、微力ながら私もお役に立てればと決意を新たにしているところであります。

どうか何卒よろしくご支援お願い申し上げます。



西宮渡辺心臓リハビリクリニック
院長 前田 美歌



新年明けましておめでとうございます。

当施設は、2017年7月に西宮渡辺心臓・血管センター連携型施設として開院いたしました。

心臓リハビリテーションとは、運動療法に加えて冠危険因子の是正、患者教育およびカウンセリングなどを含む多職種による多面的・包括的な疾病管理プログラムです。急性期から回復期までの心臓リハビリテーションの継続は、疾病予防や快適な生活を長く続ける効果をもたらします。地域の皆様に身近に回復期・維持期にわたる心臓リハビリテーションが提供できるよう努めて参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。



介護老人保健施設
ハートケア西宮わたなべ
副施設長 小島 直子



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり感謝申し上げます。

昨年たくさんの方々からハートケア西宮わたなべをご利用いただきました。

入所様にはいつまでも笑顔を絶やさず気持ちよく過ごして頂きたいと願っております。

2018年も入所者様・ご家族様にご満足して頂ける生活の場を提供していきたいと、スタッフ一同努力して参りますので宜しくお願い致します。



西宮わたなべグループホームてまりの家
施設長 小川 拓人



新年明けましておめでとうございます。

入居者様・御家族様・地域のみなさまに支えられ「てまりの家」は5度目の新年を迎える事ができとても嬉しく思っております。

本年も、施設内・施設外で入居者様のできる活動を行う事で認知症の進行を少しでも緩やかにできるよう、また認知症高齢者が住みなれた地域で安心・安全に生活できるような「生活の場」を提供できるよう職員一同努めてまいりたいと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



西宮わたなべグループホームむろかわ
管理者 岡田 三恵子



新年あけましておめでとうございます。
入居者様やご家族様、地域の皆様のおかげで、グループホームむろかわは、今年で15年目を迎えます。日頃よりお世話になっている皆様方に、心よりお礼申し上げます。

より入居者様の心と身体 の健康維持に努めると共に、地域住民として交流を深め、住み慣れた地域で安心して楽しく生活できるよう、スタッフと共に一丸となってこれからも頑張っていきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



疾病予防運動施設 健康塾
課長 石田 仁



新年あけましておめでとうございます。

去年は、健康塾・通所部門とも飛躍の年となりました。通所リハ(本院・センター)が軌道に乗り、施設が狭く感じられるほどまで日々の利用者が増えました。健康塾指導スタッフも過去最高のトレーナー6名となり、会員様のサービス向上にさらに邁進してまいります。各疾患を抱える利用者や介護の必要な利用者が増える中、職員の知識・技術の向上も図りつつ、より患者様に安心して利用していただける施設づくりに努めてまいります。会員様のみならず、地域の皆様の健康づくりを担い、より地域に愛され、頼りにされた施設を目指し、より積極的に地域に出ていき、出張講座等の各種イベントも企画開催してまいりますので、是非ご参加ください。

西宮渡辺ヘルパーステーション
管理者 寺崎 富美



新年明けましておめでとうございます

西宮わたなべヘルパーステーションは昨年よりサービス提供責任者2名となりサービスの質の向上を目指し活動してまいりました。

今年度も昨年に引き続き、皆様のニーズに基づいた身体介護・生活支援を提供できるようご自宅にお伺いしてのモニタリングや計画見直し等充実したサービス提供を心掛けて参りたいと思います。

今年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



通所リハビリテーションデイケアわたなべ

石田 仁・加藤 紘王輝

新年おめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。去年はクリニック新設と併せて、デイケアもフロアの改装があり、デイケアは激動の一年でありました。改装も昨年12月で終わり、より安全で清潔感のある空間になりました。我々スタッフも心機一転、新鮮な気持ちで利用者の方々にサービスをご提供できればと思います。

さて、話は変わりますが、去年に手入れをした4階の屋上庭園の畑に春から花が咲くようにと種をまきました。少しづつ芽も出てきましたので皆様楽しみにしておいてください。



シルバートピア西宮 / サービス付高齢者向け住宅ひだまり

管理者 瀧内 陽平



【シルバートピア】

シルバートピア西宮も本年1月に開設から6年が経過します。おかげさまで大きな事故もなく西宮市で初めての地域密着型特別養護老人ホームとして地域の皆さまに愛される施設として定着してきたと考えております。

本年も入居者様のご希望が叶うよう、ご家族様との絆を大切に、質の高いサービスの提供に職員一同努めてまいります。

皆さまには、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ひだまり】

昨年7月に開設した定員20名の施設です。ご入居の皆さまには、いつまでも自立した生活を送ることができる我が家として「ひだまり」を選んで頂きました。本年も笑顔絶やさず、健やかに暮らして頂きたいと願っています。

スタッフ一同、皆さまが快適な生活を送っていただけるように努めてまいりますので今年一年、よろしくお願い致します。



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ致します。



西宮わたなべ訪問看護ステーションむろかわ

管理者 清船 久見子



新年あけましておめでとうございます。

今年は診療・介護報酬、同時改定の年です。来る2025年問題に向けて今年は大きな転換の年となりそうです。

昨年はサービス付き高齢者住宅「ひだまり」において定期巡回随時対応型訪問介護看護の連携事業所となり、短時間の随時訪問を行うことで介護職員との連携も出来、患者様に病院からの治療の継続が出来ました。

今年度は、報酬改定での訪問看護についての基本方針である「医療機関から在宅への円滑な移行支援に係る訪問看護の提供体制」について、少しでも皆様のニーズに沿った支援ができるよう各医療機関と協力し、より良いサービス提供を行えるよう心掛けていきたいと考えております。

皆様が住み慣れた街で安心して暮らせる地域医療を目指して、今年も邁進してまいります。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。



西宮わたなべ

居宅介護支援センターむろかわ

管理者 住宮 祥太



新年、明けましておめでとうございます。この度、私たち居宅介護支援センターむろかわはサービス付高齢者住宅ひだまりの1階に7月より移ってまいりました。気持ちの上では心機一転ですが、今まで通り、地域の方々に信頼される事業所を目指して努力してまいります。医療、福祉の連携に重点を置き、在宅生活に不安を抱える高齢者、その家族が安心して生活を送れるように支援します。本年も、精一杯、業務に励み、職員一人一人が成長出来るようにご指導よろしくお願ひ申し上げます。

訪問看護ステーションまえはま

管理者 吉崎 しのぶ



新年あけましておめでとうございます。昨年は、新しいスタッフを迎えることができ、より一層充実した看護となるよう学習も重ねてきました。また病院・各事業所との連携を大切にし、ご利用者様の信頼・安心につながるよう看護を実践してきました。今年はさらに訪問範囲を拡大し、精力的に活動していきたいと思ひます。在宅生活が安心して継続できるよう質の高い看護の実践を目指して、努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



居宅介護支援センターまえはま

管理者 能登 孝博



みなさま新年明けましておめでとうございます。平成27年9月1日にハートケア西宮わたなべ福祉の郷1階に居宅介護支援事業所を開設し、早くも2年4ヵ月が経ちました。西宮渡辺病院をはじめ、西宮渡辺心臓・血管センター、各介護保険施設、在宅サービスと連携を図りながら日々業務に当たっています。

昨年12月には新たに前浜クリニックがオープンしました。地域の方々から信頼され、安心してご相談いただける事業所として、スタッフ一同頑張っています。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

西宮市中央在宅療養相談支援センター

管理者 白方 芳子



明けましておめでとうございます。

私たち医療法人渡辺高記念会西宮渡辺病院は、平成29年11月より西宮市から委託を受け、西宮中央圏域に在宅療養相談支援センターを開設いたしました。地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることが出来るように「医療と介護をつなぐ役割」として活動させて頂ひしています。医療と介護が連携し安心して暮らせる地域を目指し、今年も邁進してまいります。まだまだ未熟ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

西宮わたなべ前浜クリニックにて

循環器内科、糖尿病内科、脳神経外科の診療を開始しました！！

2018年6月に予定しております、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院の新規開設に先駆け、2017年12月4日より西宮わたなべ前浜クリニックにて循環器内科、糖尿病内科、脳神経外科診療を開始致しました。

専門的な診療に加え、一般内科診療を行い、今年2月には上甲子園にあります「西宮渡辺心臓リハビリクリニック」に続く拠点として、新たに心臓リハビリテーションを開始致します。

前浜地域に密着した医療を展開していきます。

今後とも宜しくお願い致します。

法人本部 副本部長 藤原新吾

		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	循環器内科	山屋	谷口	嶋谷	山屋	飯尾	担当制
	糖尿病内科	小谷	質倉	小谷	質倉	質倉	
	脳神経外科	(糖尿病内科)	(脳神経外科)	(糖尿病内科)	(脳神経外科)	(脳神経外科)	
午後 (14:00~17:00)	糖尿病内科	小谷		小谷			

【お問い合わせ】

皮膚科直通：0798-39-0215

外来直通：0798-39-0255

(循環器内科/糖尿病内科/脳神経外科)

※休診日：日曜日、祝日

西宮最新医療学術フォーラムが開催されました

12月7日に、西宮神社会館にて西宮最新医療学術フォーラムが開催されました。

院内の職員、また近隣の開業医の先生方も含めて29名の出席がありました。はじめに、当院呼吸器内科部長の松浦邦臣先生より「リウマチ疾患に付随する肺病変について」の講演がありました。その次にリウマチ科医長の西岡重紀先生より「リウマチの診断と治療update」についての講演がありました。座長はそれぞれ横山整形外科の横山裕志先生、県立西宮病院リウマチ科医長の関口昌弘先生にお願いし、質疑応答についても活発な意見交換がなされました。

関節リウマチ及びその呼吸器合併症についての理解を深めると共に、当院の呼吸器内科、リウマチ科を対外的に紹介し、当院や県立西宮病院を

中心とした西宮市界隈の病診連携を一層深める非常に意義深い会となりました。



西宮渡辺病院リウマチ科 西岡重紀

CT・MRI 予約システム”かかりん”導入

昨年9月から、CT・MRI 予約システム”かかりん”を導入しました。開業医さんに随時、かかりんのシステムを紹介し設置・設定しているところです。

このシステムにより開業医さんからCT・MRIの予約をネット上から取れる事が可能となります。電話のやり取りでなく、直接予約状況を確認し予約を取る事が出来るため、患者さんの待ち時間が減ります。

地域と連携して、西宮渡辺病院と西宮渡辺心臓・血管センターのCT・MRI装置を利用して頂き、検査センターとしても頑張っていきたいと思っています。

西宮渡辺心臓・血管センター 画像診断部 和氣利充

関連施設

● 社会医療法人 渡邊高記念会 ●

西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓・血管センター / 西宮わたなべ前浜クリニック / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック

ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / グループホームむろかわ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり

定期巡回・随時対応型訪問看護介護わたなべ / 訪問看護ステーションむろかわ / 居宅介護支援センターむろかわ

西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / すくすく保育 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター

● 社会福祉法人 高明会 ●

シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまえばま / 居宅介護支援センターまえばま



わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集